

令和3年度 山口県医師会学校医研修会・学校医部会総会

と き 令和3年12月5日(日) 13:00～14:40

ところ ホテルニュータナカ2階 平安の間(ハイブリット開催)

研修講演及び報告: 川崎医療福祉大学医療福祉学部

子ども医療福祉学科特任教授 尾内 一信

総会報告: 山口県医師会常任理事 河村 一郎

学校医研修会(13:00～14:30)

新型コロナウイルス感染症とワクチン

ー現状と課題、そして近未来予想ー

(Web 講演)

川崎医療福祉大学医療福祉学部

子ども医療福祉学科特任教授 尾内 一信

新型コロナウイルス感染症は、2019年末に中国武漢から原因不明の肺炎として現れ瞬く間に全世界に拡がり人類に多大な混乱と犠牲者をもたらしている。人類史上類を見ない早さでワクチンが作成され世界中で接種が進んでいるが、新たな変異ウイルスの出現でその度に慎重な対応に追われている。出口が見えない闘いに日々追われている現状である。本日の講演では、現状把握と課題、そして近未来予想について概説する。

SARS コロ ナ ウ イ ル ス 2 (SARS-Cov-2) は、SARS(重症急性呼吸器症候群)やMARS(中東呼吸器症候群)の原因ウイルスと同じ系統のウイルスで、死亡率2%とSARSやMARSより低い重症の呼吸器感染症を起こす。誰もかかったことがないので、非常に感染しやすい。感染経路は、飛沫感染、接触感染が主で、密閉した空間では空気感染のようなエアロゾル感染で感染する。SARSやMARSと異なり発症2日前から感染するために、無症状の潜伏期から感染が拡がるため感染をコントロールすることが困難である。発症後約1週間後からサイトカインストームを起こし重症化する。重症化しやすい人は、高齢者、肥満、呼吸器や循環器などに基礎疾患を持った人、妊婦などである。2021年末までに世界で約2.5億人が罹患し、約500万人が死亡し(死亡率2%)、

日本では、約180万人が罹患し、約1万8,000人が死亡している(死亡率1%)。日本政府は、緊急事態宣言など感染対策としてのブレーキとGo toキャンペーンなどの経済対策としてのアクセルを実施し、また2021年2月からワクチン接種が始まり、2021年末には約80%まで接種率が高まった。この間にSARS-Cov-2は、従来株だけでなくアルファ株、デルタ株など変異種が出現し、2021年末までに第5波を経験したが徐々に元の生活を取り戻せそうな状況であった。ただ、新たな変異種オミクロン株が南アフリカから非常に速いスピードで全世界に拡がり憂慮される。

新型コロナウイルスワクチンは、開発をはじめから1年以内に承認され全世界で接種が始まった。世界でさまざまなタイプのワクチンが開発され接種されているが、日本で使用されているのはmRNAワクチン(ファイザー社製とモデルナ社製)とウイルスベクターワクチン(アストラゼネカ社製)であり、今まで日本で使われたことのない新しいワクチンである。副反応として局所反応や発熱などの全身反応も認めるが、重篤な副反応は稀である。稀な副反応として、mRNAワクチンは心筋炎、ウイルスベクターワクチンは血栓症の疑いがあるが、ともにCOVID-19に罹患するよりはリスクは低いと考えられる。もちろんゼロリスクが理想的であるが、ワクチンにゼロリスクを求めるのは難しいのでリスクとベネフィットを考慮すると接種が推奨されるワクチンである。したがって、国民の集団免疫力を高め元の生活に戻るためにできるだけ接種を進める必要があると思われる。これらのワクチンは、従来株からデルタ株までの変

異種にも非常に有効である。ただ、時間と共に徐々に効果が減弱するために追加接種が必要であり、待ったなしの対応が必要である。オミクロン株への有効性については今後の知見に注視する必要がある。12歳以上の小児への接種も約70%を超えて順調に進んでいる。今後、5～11歳の小児へのワクチン接種（ファイザー社製）が始まると予想される。5～11歳の小児へのワクチンは、同じファイザー社製でも12歳以上用のワクチンと製剤が異なるため注意が必要である。米国でも接種間違いが頻発している。

今後、ワクチン接種対象年齢でない子どもたちへの感染拡大が予想される。学校医として、学校関係者と密な連絡を適切に取り対応していただきたい。文科省が発出している学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（図）を参考にしていきたい。

参考文献

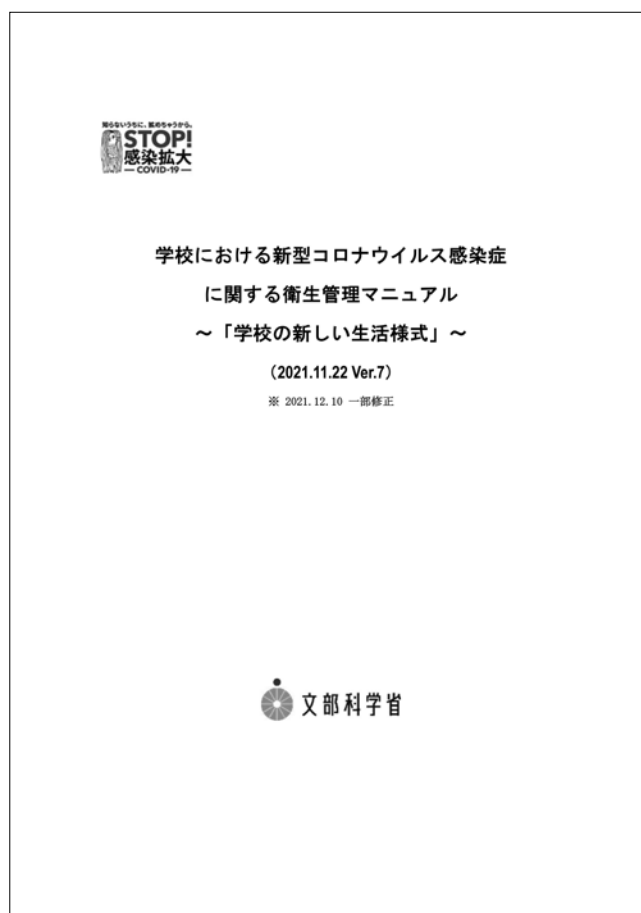
1. 文部科学省 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2021.11.22 Ver.7）

※ 2021.12.10 一部修正（2022年1月14日閲覧）

https://www.mext.go.jp/content/20211210-mxt_kouhou01-000004520_2.pdf

学校医部会総会（14：30～14：40）

学校医研修会終了後、令和3年度山口県学校医部会総会が開催され、青柳副部会長の議事進行によって、令和2年度事業報告、令和3年度事業計画が承認された。



図